

# 授業科目 試験評価と標準化

【担当教員名】 前田 雄、高橋 義信		対象学年	4	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要・一般目標：G10】 福祉機器・用具を選択するにあたり、安全な福祉機器・用具であるか否か検査・評価によって判断することは重要である。また、福祉用具は身体に密着して使用する者が多いため、他製品にも増して耐久性や安全性が重要になる。福祉用具の安全性確保のために、福祉用具に関するいろいろな「基準」を検証・評価する機関や国際規格、国内規格について習得する。さらに、英語の専門用語に慣れる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福祉機器・用具の安全性と安心感について説明できる。</li> <li>2. 試験・認証について説明できる。</li> <li>3. 福祉機器・用具関連 ISO/JIS について説明できる。</li> <li>4. 手動車いす・電動車いす JIS 試験について説明できる。</li> <li>5. 歩行器、つえ JIS 試験について説明できる。</li> <li>6. 専門用語を英語で記述できる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス・福祉機器・用具の安全性と安心感			1,6	説明・講義と質疑応答、演習
2	試験・認証			2,6	
3	福祉機器・用具関連 ISO/JIS			3,6	
4	手動車いす JIS 試験			4,6	
5	電動車いす JIS 試験			4,6	
6	歩行器、つえ JIS 試験			5,6	
7	達成度確認試験				
8	自己点検授業				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		配布資料、ppt			
【評価方法】 レポート 40%、達成度確認試験 30%、学習態度 30%			【履修上の留意点】 原則、欠席 1 回につき -2 点、遅刻 1 回につき -1 点を最終評価から減点する。また 2 回の遅刻で 1 回の欠席とする。 問題解決能力だけでなく、課題発見能力にも力を入れるので、積極的に質疑応答へ参加するように。		